

## 暮らし エコニュース

### 家電製品を上手に使おう

夏はエアコンの使用などにより、電力需要が高くなる季節です。家電製品の使い方を見直すことで消費電力を減らすことができます。すぐにできる取り組みばかりなのでぜひ実践してみましょう。

#### 冷蔵庫

- ・庫内の掃除・整理をこまめに行い、詰め込み過ぎに注意する
- ・熱いものは冷ましてから入れる
- ・ドアの開閉を少なくする



#### テレビ

- ・見ていないときはつけたままにせず、テレビを消す
- ・画面が汚れていると明るさが低下するので、画面を掃除してから明るさを調節する
- ・画面は明る過ぎないように、音量は必要以上に大きくならないように調節する

#### エアコン(冷房)

- ・カーテンやすだれなどで熱の出入りを防ぐ
- ・ドア、窓の開閉は少なくする
- ・室内温度を適度に設定する
- ・室外機の周りに物を置くと冷房効率が悪くなるので、周囲の整理整頓を心掛ける

#### 電気ポット

- ・低めの温度で保温して必要な時に再沸騰させる

#### 掃除機

- ・ほうきやちりとりなど、電力を使わない掃除道具を活用する
  - ・部屋を片付けてから掃除機をかけるようにするなど、使っている時間を短縮する
  - ・集塵パックにごみが詰まった状態だと消費電力が増えてしまうので、適宜取り替える
- また、長期間使わないときは主電源を切り、プラグを抜くことで、待機時の消費電力を減らすことができます。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。

### 消費生活相談

## Q&A

### クリーニングのトラブルを防ぐためのポイント

**Q** 大切な服をクリーニングに出そうと思っています。トラブルを未然に防ぐために注意することはありますか。

**A** クリーニングのトラブルはさまざまで、原因の特定が困難なケースも多くなっています。トラブルにならないよう、仕上がりの希望や気になることなどは、品物を預けるときにきちんと伝えて、クリーニングを上手に利用しましょう。

#### クリーニングに出すときのチェックポイント

- ・ポケットの中は空にし、特殊な装飾品やボタンは取り外しておく
- ・取れそうなボタン、布のほつれ、穴開きはできるだけ修理しておく
- ・ベルトなどの付属品や上下セットの衣類は一緒に出す
- ・しみ・汚れの有無、衣類の型崩れや縮みの有無・風合いな

どを店員と一緒に確認する

- ・形見や高級品など特に大切な品は、その旨を店員に伝える
  - ・点数、種類が間違いないことを確認し、預り証をもらう
- 仕上がったらすぐ引き取りに行き、預けた品物が全てそろっていることを確認し、色・形・付属品などの仕上がりをチェックしましょう。何かおかしいと気付いたときは、その場で店員に伝え、調査を依頼しましょう。時間が経過すると原因の特定が難しくなります。

持ち帰った品物は、カバーに使われている酸化防止剤で、黄変することがありますので、カバーを外して保管しましょう。また、クリーニングの溶剤が残っていた場合、皮膚に着いて化学やけどを起こす可能性があるため、石油臭がしたら、臭いが取れるまで風通しのよい屋外で陰干ししましょう。

クリーニングのトラブルが発生した時は補償責任の期間が決められていますので、すぐに店に申し出ましょう。SマークやLDマーク、クリちゃんマークを提示している店では「クリーニング事故賠償基準」に沿って適正に対処することになっています。



※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。